

11 その他重要な事項

1) 創立370周年記念事業の推進

370周年記念事業は、大学・親和会・校友会の三者の協働で計画され、「第4次長期計画の完遂」を目指すものである。したがって、その事業期間は、第4次長期計画の最終年度と同じく平成21年度までとした。記念事業の支柱は、「教育・研究・学生活動の支援事業」「施設設備の環境整備事業」「積立金事業」「記念式典事業」の4事業である。同記念事業は、年次計画の中で推進されており、既に実施済みの事業や、今後の策案段階の事業もある。なお、記念事業資金の一部を募金で充てることとし、目標額を40億円と定めた。このため、平成17年10月から新たに370周年募金事業を立ち上げ、既に後半期で1億1千9百万円余の寄付金を拝受した。ちなみに、前半期の施設設備寄付金8千1百万円余並びに浄土真宗本願寺派からの寄付金4百万円余を総合計すると、17年度は2億円余の寄付金を拝受した。募金実施にあたっては、親和会及び校友会から力強い協力と支援を受けている。平成18年度は新たに法人企業を対象とした募金事業展開を図る。

2) 浄土真宗本願寺派との連携

本法人の設置理念や寄附行為からもわかるとおり、浄土真宗本願寺派との関係は重要であり、本法人の発展に係る歴史的経緯を見ても、人的・経済的な側面等において浄土真宗本願寺派から様々な支援を受けている。

浄土真宗本願寺派は、親鸞聖人750回大遠忌（平成23年）に併せて多様な記念事業を計画しているが、その諸事業と本学の創立370周年記念事業などの諸事業とを連携させて、各事業を効果的に展開していく必要がある。

平成17年度においては、建学の精神を同じくする学園が相互に発展することを目的に組織されている「龍谷総合学園」の学校間連携の充実をめざすべく、龍谷総合学園の中心大学として、「龍谷総合学園学校間連携推進委員会」の設置に関わった。また、本学が構想する「龍谷ミュージアム開設事業」に関連して、文化財の保護・活用や本願周辺施設の整備を検討している浄土真宗本願寺派との方針が一致しており、具体的な検討を開始するための協議会を組織し、検討を開始した。その他にも、浄土真宗本願寺派が進める千年の森（本願寺の森）構想、ビハーラ実践活動の拠点となる社会福祉施設の建設・運営、国際貢献や社会的活動を推進するNGOの設立、本願寺門前町の活性化に係る事業には、本法人への協力が求められ、各検討委員会に教職員を派遣し、効果的に協力を行える体制を整備した。

3) 首都圏における展開

本学の首都圏における活動の足掛かりとして、平成17年4月、東京・丸の内に「東京オフィス」を開設し、6月には開設記念式典を企業懇談会と併せて実施した。

就職活動支援については、開所以来、145人の学生利用があり、12月には東京勤務の卒業生による現役学生支援として、TV会議システムを利用しての就職懇談会を実施した。

卒業生のための交流拠点としては、10月に校友会東京支部と神奈川県支部が再結成され、各事務局との連携を通して支部活動に積極的に関わっている。また、関東地域の卒業生のメーリングリストを開設し、卒業生同士の情報交換等に利用している。

公開講座等の開講については、10月下旬より毎月1回「RECコミュニティカレッジ

東京」として開講した。テーマを「親鸞の心を現代に生かす」、「現代によみがえる大谷探検隊の軌跡」とし、計6回にわたり開講した。前者については計3回の講座に延べ152名、後者については計3回の講座に延べ613名の参加があった。次年度以降も月1回程度、年間9回程度の開講を予定している。

4) 校友会・親和会との連携

卒業生で構成される「校友会」及び学生の保護者で構成される「親和会」は、本学にとって強力な支援団体である。

校友会は、校友相互の交流をはじめ、卒業生が大学及び現役学生に貢献することを目的としており、そのために大学との適切な接続・連携を行っている。親和会は、大学に学ぶ学生の安全はもとより、良い教育を受け、誇り高く卒業し社会の一員となるよう健全な学生生活を送れることを求めて、各々関係の支援事業を行っている。

両者はそれぞれ、本学と定例懇談会を持ち、協働して各々の取り組みを行っている。今年度の主な取り組みとして、校友会においては龍谷賞、就職支援、福利施設運営等が挙げられ、

親和会においては、保護者懇談会、課外活動支援、大学認知度向上広報、奨学事業等が挙げられる。

それらの事業の他、大学、校友会、親和会の三者共催事業として、次の事業を実施した。

- プレ龍谷 in 東京（10月9日：保護者懇談会、講演会）
- 業務説明会（税務・会計業：最高60名×19回）
- 業務説明会（マスコミ業界：35名×3日集中）
- 保護者懇談会（11月4日：大阪）
- ホームカミングデー2005（11月6日：龍谷祭に合わせ）